

令和4年度東京都立日野台高等学校学校運営連絡協議会実施報告書

1 組織

- (1) 都立日野台高等学校学校運営連絡協議会（全日制課程）
- (2) 事務局の構成 副校長、経営企画室長、主幹教諭(総務主任兼務)＝事務局長、計3名
- (3) 内部委員の構成
校長、副校長、経営企画室長、主幹教諭及び主任教諭8名（教務主任、生活指導主任、進路指導主任、保健部主任、総務部主任、第1学年主任、第2学年主任、第3学年主任） 計11名
- (4) 協議委員の構成（氏名の掲載も可）
教育関係者（大学教授1名、日野市教育委員会1名、近隣中学校長1名、近隣小学校長1名）、PTA会長、同窓会会長、地域代表3名、学習塾代表1名 計10名

2 令和3年度学校運営連絡協議会の概要

- (1) 学校運営連絡協議会（第1～3回）の開催日時、出席者、内容、その他
 - 第1回 令和4年6月30日（木）内部委員11名 協議委員6名 欠席4名
 - ・協議委員委嘱、委員紹介、評価委員の選出
 - ・学校経営計画・概要、昨年度の学校運営連絡協議会の課題
 - ・本校の現状（各分掌・学年の計画及び状況）
 - 第2回 令和4年11月9日（水）内部委員11名 協議委6名 欠席4名
 - ・令和2年度学校評価、学校評価の内容検討、教育活動現状報告
 - ・協議委員からの教育活動に対する意見、協議
 - 第3回 令和5年 3月2日（木）内部委員11名 協議委8名 欠席2名
 - ・学校評価アンケートの集計結果報告
 - ・各分掌・学年の年間報告
- (2) 評価委員会の開催日時、会場、出席者、内容、その他
 - 第1回 令和4年11月9日（水）内部委員1名、協議委員2名
 - ・学校評価の基本方針の確認、設問文の検討
 - ・今年度の学校評価の実施に向けた検討、近隣等対象の見直し
 - 第2回 令和5年 3月2日（木）内部委員1名、協議委員2名
 - ・アンケート集計結果の分析・考察、課題の整理、評価報告書

3 学校運営連絡協議会による学校評価（学校評価報告）

- (1) 学校評価の観点
 - ・学校経営の方針が生徒、保護者、教職員に周知されているか、在校生と保護者の意識のあり方がどのようなものであるのかを明らかにして改善に資する。
- (2) アンケート調査の実施時期・対象・規模
 - ・12月 全校生徒 722人 76.1% (Forms)
 - ・12月 保護者全員 500人 54.3% (Forms)
 - ・12月 地域・住民 20人 100% (アンケート用紙)
 - ・12月 教職員 21人 42% (Forms)
- (3) 主な評価項目
 - ・「学校生活全般」「学習活動」「生活指導」「進路指導」「教育相談」「施設」「学校の窓口対応」「ライフワークバランス」等の観点で実施した。
- (4) 評価結果の概要（学校及び校長への意見・提言内容）
 - <学校生活全般>*全数値が前年度より10ポイントから上昇、全行事实施、
 - ア「充実感や満足感を感じている」・・・生徒89%、保護者87%、教員100%
 - イ「本校へ入学してよかった」・・・生徒86%、保護者93%、教員100%
 - <学習活動>
 - ア「教員は授業改革に努めている」・・・生徒72%、教員85%
 - イ「学習指導方針や目標を分かりやすく示している」・・・生徒68%、保護者65%、教員95%

*昨年に比べて、肯定的な回答が増加、実授業で指導方針や目標の周知が可能になった。

ウ「生徒の予習・復習のための家庭学習時間は十分である」・・・生徒48%、教員76%

生徒は昨年度に比べ微増、リアル授業、リアル部活動等での勉強との両立の指導がまだまだ不十分。

エ「学期中及び長期休業中の補習や講習に満足している」・・・生徒62%、保護者59%、教員76%

コロナ感染症の収束により計画的な講習が増加。が部活動行事準備等で参加できない生徒が一定数。

<生活指導>

ア『日野台スタンダード』を意識して学校生活を送っている」・・・生徒44%、教員95%、

イ「学校の基本的な生活習慣への指導には満足している」・・・生徒80%、保護者83%、教員90%

ウ「学校行事を活発である」・・・生徒79%、保護者88%、教員100%

エ「部活動は活発である」・・・生徒90%、保護者51%、教員95%、保護者の「わからない」との回答半数近くあり。

オ「通学時の交通マナーに気を付けている」・・・生徒95%、教員90%

*リアルな学校生活の中での生活指導が十分できている。『日野台スタンダード』は周知が不十分。

<進路指導>

ア「あなたは進路目標の実現のために努力している」・・・生徒72%、保護者84%、教員100%

イ「進路の悩みについて先生から適切なアドバイス等が期待できる」・・・生徒82%、保護者75%

*保護者は本校の組織的な進路指導に満足している生徒はより大きな期待していると言える。

ウ「進路指導の満足度」・・・生徒82%、教員100%と期待度は高いと言える。

<教育相談>

ア「学校はいじめや体罰をなくすために積極的に取り組んでいる」・・・生徒65%、保護者51%、教員95%

イ「心や体の悩みについて保健室やスクールカウンセラーなど相談しやすい環境が整っている」・・・生徒63%、

保護者53%、教員81%で、保護者でわからない33% 昨年と同様概ね相談できる体制を維持しているが、

生徒保護者への周知がやや不足している。

<施設>

ア「自習室の環境は十分整っている」・・・生徒78%、教員61% 自習スペースの活用状況はコロナ対策前の倍近くになり、自習スペースが不足している時期があった。

イ「自習室は学習活動の充実に役立っている」・・・生徒70%、保護者74%、教員100%

自習室が居残り学習の充実につながって居ると感じる生徒が増加している。

<学校の窓口対応> 「学校の窓口の対応は適切であると思う」・・・生徒73%、保護者78%

<ライフワークバランス> 「本校はライフワークバランスを意識した働き改革を行っている」・・・

保護者31%、教員42% *保護者は、わからないの回答も多く、教職員の勤務状況が見えづらい。

教員の42%は昨年度に比べ新教育課程の実施年度であることや年度途中の庶務事務システム（年休等申請システム）の導入等昨年度より教員の多忙感が増加している、と考えられる。

4 学校運営連絡協議会の成果と課題（学校の自己評価へ反映）

(1) 学校運営連絡協議会を実施して得られた成果

・授業改善に向け一昨年から状況把握のため「教員が授業改革を行っているか」という問にした。しかし、1人一台端末の活用状況がなかなか進んでいない。生徒が期待する以上のものが提供できたか疑問は残る。さらに、従来型の授業との相互作用で授業改善につなげようとする授業も見られた。生徒の意識と教員の意識では、若干の差があり、お互いがそれぞれを理解し双方向的な授業を作り上げていくことが重要である。

・地域と連携した防災訓練を昨年度から協議員や市役所青年会などの関係者と綿密に打ち合わせし、実施した。地域の方からの本校生徒への期待が大きいことが生徒も実感できた。しかし、2学期後半の時期だったため緊張感のかけた生徒が一部おり、地域の方に不安を与えてしまった。次年度はより実践的な防災訓練を計画、実施していくことが大切である。生徒に「公助」の意識をもたせるためにも「避難所設営・運営」を企画・実施させ生徒自ら主体的に組織的にこのような活動に臨んでいく意識や姿勢の育成の指導を着実にやる必要がある。

・「日野台スタンダード」は周知がHPへの掲載や校内掲示等はしているがまだまだ不十分と考えられる。

(2) 学校運営連絡協議会を実施して明らかとなった課題

・生徒の読書は、利用者数や貸し出し数の増加が見られない。図書館の利用が伸び悩んでいることから、生徒の図書委員会を活性化し読書活動を推進して行くことが必要である。近隣の保育園・小学校への読み聞かせ「ブックサンタ」を実施、今後も継続していく。

・新型コロナウイルス感染症の行動制限の緩和により、可能な限りリアルな学校行事や部活動が実施でき生徒や保護者の満足度が上がった。授業外のこうした特別活動等は発達段階においてコミュニケーション力や人間関係構築力に大変効果があると言われている。しかし、何事にも全力で取り組み時間や体力を消耗し、文武両道をバランスよく実践することがなかなか出来ずに疲弊している生徒が、1、2年生を中心に見られた。時間の使い方を含め適切な生活リズムを考えながら、学校生活を送れるように家庭と連携しながら指導していくことが求められている。

5 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項（学校経営計画へ反映）

(1) 学校運営

- ・教育活動を可能な限り実現するための全教職員によるコロナ感染症対策の徹底
- ・スクールミッションやスクールポリシーを策定し学校像をより明確化
- ・令和4年度からの新学習指導要領を踏まえた令和4年度生の教育課程の策定
- ・新学習指導要領に向けた大学教授による教員向け勉強会の実施
- ・ライフワークバランスを意識した働き改革の推進
- ・生活指導における通学時のマナー意識の向上や地域の中の学校としての意識化。
- ・地域の機関や保護者や近隣の学校との連携を更に推進
- ・ICTを活用した学校からの生徒や保護者への連絡

(2) 学習指導

- ・授業改善を図る相互授業見学や研究授業などの組織的な運営
- ・生徒の自習時間を確保し、自学自習の工夫と学習スペースの充実
- ・進学指導業者の講演会や日本語指導の必要な生徒への放課後補習など外部人材の活用
- ・オンライン学習など新たな授業形態の見直し
- ・GTEC等英語力の定期的測定のための実施

(3) 生活指導

- ・規範意識の醸成とマナーの実践
- ・生活指導部や学年との連携
- ・保護者との連携
- ・連絡ツールの活用や充実の教科

(4) 進路指導（進学指導推進校として）

- ・生徒、保護者に対しより実践的なキャリアガイダンスの増加
- ・高大接続を意識した情報の提供
- ・学年ごとの保護者への進路ガイダンスの充実

6 「学校がよくなった」と考える協議委員の割合

(1) 協議委員人数 10人

(2) 学校がよくなったと答えた協議委員の人数

そう思う	多少そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	分からない	無回答
9	0	0	0	0	1	0

7 職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績及び成果

【実績】 職員会議 0回 企画調整会議 0回